

そらばた 空畑遺跡（第5次） その4

前回紹介した集石炉しゅうせきろから約 10m南の地点で、こんどは煙道付炉穴えんどうつきろあなが1基みつけられました。煙道付炉穴は、ふつう、大小2つの穴とそれをつなぐトンネル（煙道）によってできていますが、今回みつかったものはトンネル部分は崩れて残っていませんでした。

空畑遺跡では、昨年度の調査でも煙道付炉穴が2基みつかっており、これらは出土した土器の特徴などから縄文時代早期（約1万年前）のものとみられます。数は多くありませんが、空畑遺跡の広い範囲に点々と、この時期の人々の活動のあとが残されていることが分かってきました。

※煙道付炉穴については[こちらの中野山遺跡の紹介（6月9日）](#)に解説があります。



<問い合わせ先>

〒511-0415 いなべ市北勢町東貝野454番地

三重県埋蔵文化財センター 調査研究4課 いなべ整理所

担当者：勝山孝文、松永達也

電話番号：0594-72-8955

FAX：0594-72-8970

e-mail：maibun@pref.mie.lg.jp